

## 第1回徳島市立中学校制服のあり方検討委員会 議事録（概要）

日時 令和6年9月4日（水）14時00分～15時05分

場所 徳島市役所11階 教育委員会室

### ◆ 議 事

#### （1）制服の状況等について（資料4）

（委員）

女子生徒について、スラックスの着用が認められるようになってきているものの、まだ慣れていないのか、思春期だからか、周りの目や友達の声を気にして選択できない子もいる。

犯罪面や動きやすさ、暖かさといった機能面、自転車での登下校を考えるとスラックスの着用を望む保護者の声も一定数ある。

しかしながら、スラックスとスカート両方を購入することは経済的な負担もあり、結果としてスカートのみを選択する方が多い。

また、戸籍やDNA等の性別のみに囚われることなく、個性を認め合ったり、理解し合ったりすることは大切であり、（そうした意味でも）この制服の検討はすばらしいと思う。

（委員）

（勤務する学校では）男子は学ラン（詰め襟学生服）、女子はセーラー服という固定観念で苦しんでいる生徒がいるという現状を踏まえ、男女の区別を除いて対応することで共通認識を進めている。

各学校が単独でデザイン決定やブレザー化を進めていくことはハードルが高いため、今回の制服の提案は、これからの子どもたちが自由に制服を選択することや、自分の性に悩んでいる子どもたちが生きづらさを感じることから解放されるという意味でも、非常に意義があると考えます。

もう1つ大切なこととして、自校の制服に愛着等を持っている保護者のお考えや、多様な意見の尊重・すり合わせなど、理解を進めていくことが、次の課題と考える。

（委員）

現在、女子でスラックスを着用する事例は存在する。職員会では、男子のスカート着用についても対応を協議している。

一方、標準制服を採用することとなった場合、すべての学校の生徒が同じ制服を着用することで、生徒指導上の観点から懸念もある。

例えば、リスクマネジメントの一環として、駅前に中学生がたくさん集まっていた時に、同じデザインの制服であれば、どこの学校の生徒かわからないということが起こり得るのでは。

(事務局)

生徒指導上の識別について、他市の事例でネクタイやリボンの色や柄、ワッペンといったものを学校毎に定めることにより学校の識別ができるようにしているところもある。継続して調査し、情報共有しながら進めたい。

(委員)

最近、機能的な制服が増えているので、制服を変えることに反対はないが、生徒指導面を考えたときに、すべての学校が一緒のデザインになるとすれば、識別が難しくなると思う。

(事務局)

現状においても、市立中学校15校のうち14校は詰襟学生服とセーラー服のため、識別しにくいと考えるが、いかがか。

(委員)

現状でも見分けが付きやすいという訳ではない。制服を脱いでいることもある。セーラー服の場合は、リボンの色やラインの数、あとは名札で。標準制服の場合、名札はどうなるのか。

(事務局)

名札についての議論も必要。

委員からいただいた生徒指導上の識別方法については、他都市の事例等も継続して調査し、情報を共有、ご意見をいただきながら進めたい。

(委員)

自身が最初に女子生徒のスラックス着用を見たのは10年以上前と記憶している。その後、スラックスを着用する女子生徒を目にする機会も増え、時代（ニーズ）が変わってきたと感じている。

一方、自身も生徒指導的な部分が気になっている。

例えば、県外への遠足の引率などの際は、県外では詰襟でない制服も多いため、制服が生徒を見分ける目安となっている。

また、県内や市内の例では、高校の入試の引率等で朝集合をかけるときに、別の学

校も同じ制服だと見分けにくく、生徒が迷っていても声をかけづらい、ということが出てくる可能性もある。

寒い時期、マスクやマフラー等をしている中で、顔よりも服装のほうが、見分けが付きやすい、というのはあると思う。

#### (委員)

小学校の場合は、以前に自由服と制服についての議論があり、その経緯を踏まえて現在は自由服の学校と制服の学校の両方がある。

統計的にはわからないが、自由服の学校のほうが多いイメージである。

そうした中で、制服を考える場合、やはり制服の存在自体を議論するところから始めるべきと考えるが、タイミングとしてはアンケート調査を行ってからのほうが具体的にいいと思う。

また、現在の制服には、地域の方のご協力等により、リユースの取り組みがあり、自然なかたちで卒業生から下級生に制服が引き継がれている。

中学校の制服についても、やはりコストは重要な問題と思う。

自校の生徒を識別できることは、確かに安全安心のためには必要であると思うが、リユースしやすい形状にしておいて、使用を終えても、まだ十分使える状態にある制服を、これから必要な人が安価に手に入れることができる、ということが、保護者からすれば、一番大きな決め手になると思う。

(小学校の)自由服から(中学校で)制服になると、コストが上がることを心配される保護者も多い。

中学校にあがって、制服を着用することに憧れている子もいるので、制服自体に反対はないかもしれないが、コストの問題はずっとつきまとうと思うので、その点についても、中心的に考えていただきたいと思う。

#### (委員長)

各学校の保護者を含めた地域の方々、世間一般の方々、今どのように考えているのか。今、中学校では入学説明会のときに、自分が特性を持っていることや食事も含め学校に知らせておきたいことを話し合う場があるが、地域の理解の部分についてというのはどうか。

以前に比べると、理解度が高まっているとは思いますが、自身としては十分とは言えない状況だと感じている。

既に標準制服を採用している地域では、上手くいっているのか。

#### (事務局)

標準制服を採用している自治体における事後アンケートでは、肯定的に捉えている

意見の割合が高かった。

また、ジェンダーへの配慮は、標準制服を採用する際のメリットの一つであるが、そのほかにも、標準制服には、寒暖差への対応や、伸縮性などの着やすさ、洗える、比較的安価であるといったような機能面・経済面でも多くのメリットがあると考えている。

様々な価値観があるので、どれか一つに重きを置くのではなく、機能性の面とジェンダーレスの両方の観点で総合的に判断すれば良いと考えている。

機能性とジェンダーレスは同じ並び、同じ大ききで位置づけているとご理解いただきたい。

(委員)

保護者の意見として、例えば、詰め襟は喉が苦しく下に着込みにくい、セーラー服も、下に着込みにくく上着が必要、といったように、個別の事情には合わせにくく、着脱しづらいといった問題があり、機能的でないとの声はある。

そこで、制服ではなく自由服にするか、それとも機能性を重視した制服を採用するか、となった場合、おそらく後者の賛同者が多いと思う。

男子も女子もみんな同じ制服の着用が可能であり、詰め襟かセーラー服の2択から選択しなくても良いというのは、非常に子どもたちの心に配慮していると感じる。

また、些細なことだが、制服のシャツをスラックスの中に入れてベルトを締めることを基本としている学校で、「シャツを入れると、体感温度が2度違うそうですが、入れないとダメですか」という生徒の意見があった。シャツを入れることが良いのかどうかも含めて見直しが必要だと思う。これだけ暑くなってきているので、校則や、「こうあるべき」としていることが、本当に子どもたちの体調や実態に即しているものかどうか、また、制服が本当に機能的で快適かを子どもたちと見直す機会かと思う。

## (2) 制服に関するアンケート調査について (資料5)

(委員)

中学1年生にもアンケートをするということは、令和8年度にこの子達が3年生になったときに制服を変えますか、ということが想定されるためか。

(事務局)

当初はそうのように考えていたが、現在の状況として、ある関係者からは、(標準制服を採用するとすれば)令和9年度からでないと対応が難しい、という声を聞いている。導入時期については、後日改めて検討することになるが、地域や関係業者の意見

を聴きながら、できるだけ支障のないように進めたいと考えている。

令和9年度からの導入になると、今の中学生は既に卒業していることになるが、「(検討対象となっている) 中学校の制服を着ているのは今の中学生なのだから、現在の制服で困っていることや、着用した感覚、標準制服に変える意義等については、今の中学生が意見を持っているはず。新しい制服を着る・着ないではなく、今の当事者として、中学生の意見を聞くべき。」というご意見を、委員からもいただいている。

そういう意味では、中学生のすべての学年から、自分たちは卒業していないかもしれないけれど、後輩の制服づくりに自分たちの意見を反映させるという観点で、ご意見をいただけたらと考えている。

(委員長)

このアンケートの内容は、小学校5年生、6年生にも理解できるか。

(委員)

当然、現在自由服で通っている学校等については、イメージしにくいところがあるかもしれないが、5年生、6年生の子にしてみると関心はあると思う。

(事務局)

令和9年から導入となった場合、今の小学校4年生から導入ということになるが、4年生がこのアンケートを回答することは可能か。

(委員)

中学生の意見をより聞いたほうが良いと思う。経験しているから。

小学生の中には、わからないまま回答する子もいると思うし、子どもの意見というよりも親の意見が反映されると思う。中学生にアンケートをとったら、多くの意見が出てくると思う。

(委員)

制服が白の(夏用)セーラー服で、校則で白の下着を着るように定められている学校があり、白の下着だと透けてしまうが、その上にキャミソールを着ると暑いという意見があるので、個人的には最初から透けないような色の制服を考えていただきたい。

アンケートの中にも、透けにくいという項目を追加してほしい。洗いやすさ、手入れのしやすさ等の項目がアンケートに入っているのは良いと思う。

(委員)

小学校の保護者については、低学年までアンケートをとってもいいと思う。

中学生は色々と意見を持っていると思うので、全学年を対象とすれば良い。

(委員)

小学校3、4年生で考えると、本来このアンケートが調査したい内容を、子どもたちが正確に判断してデータとして出せるか、というのは疑問がある。確かに意味はわかって答えると思うが、それほど深く考えず、思いつきで答える子も多いような気がする。当然、親であれば低学年の保護者であっても、将来のことを考えて答えてくれるので有効かと思う。

また、高学年であれば身近なことなので、この内容であれば、理解して答えられる子が多いと思う。

(事務局)

委員のご意見を踏まえ、アンケート対象については、保護者は小学校1年生から中学校3年生まで広く対象とさせていただき、中学生は1年生から3年生まで、小学生は、5年生、6年生を対象とすることに決定する。

現在、想定しているスケジュールでは、小学校4年生が新制服を着用する初年度ということになるが、アンケート対象は小学校5、6年生以上となっているため、(代わりという意味でも)保護者の方にご意見を伺う。

(3) その他

(副委員長)

制服について、このように話をすることはすごく大事だと感じている。

アンケートに関しては、最初は、教員をアンケート対象とすることに疑問があったが、先ほどの話の中で出た生徒指導上の問題等も考えられるので、やはり教職側の意見や考え、そして保護者の考えが出てくるのは非常に大事なことと思う。

実際に制服を着用している中学生は、いろいろな考えを持っていると思うので、中学生にはできるだけ意見を聞いてあげたいと思う。

どのような形になるかわからないが、アンケートの結果を受けて、次の会議でこのような話し合いができ、より良い方向に進めたいと思う。

(副委員長)

制服の見直しについては、市内の中学校で要望がなかったため、今まで議題にならなかったと思うが、全国的にこういう流れであるので、アンケートに基づいて、保護者、子どもたちの意見を聞いて進めていきたいと思う。

標準制服が採用されたとして、全学校が標準制服導入っていう決め方になるか。例えば、今までどおりの制服でよいという学校が出てくる可能性も想定される。

(事務局)

可能性はあると考える。学校ごとの標準制服の採用意向については、後ほど調査する予定である。

－ 終 了 －